

第9回 横濱まちづくりラボ

現市庁舎街区等の活用アイデア 検討の進め方について

平成27年5月29日

「知と創造シリーズ」の検討結果

- 平成27年1月～3月に全3回開催
- 参加者が一堂に会してのワークショップ方式
- 希望者によるショートプレゼンテーション

議論により出された「まちづくりのコアとなる機能イメージ」

◆『教育・研究機能』

大学等の教育機関や企業の研究所等を集積した、人材育成とネットワークづくりの拠点

◆『国際交流機能』

来日した旅行者や海外都市に対して、横浜または日本の情報の発信

◆『ウェルネス機能』

高齢化社会における社会課題に対応し、年齢や状態に応じた健康・医療サービスの提供

現市庁舎街区等の 活用アイデア検討の進め方①

- 検討目的

- 「“知と創造”をテーマとしたまちづくり」シリーズを踏まえ、現市庁舎街区等の活用に向け、「まちづくりのコアとなる機能イメージ」の具体化を更に図る。

- 目標

- ラボのアイデアを参考にして、27年度内に現市庁舎街区等の活用の方向性を得るとともに、活用実施に結びつける。

現市庁舎街区等の 活用アイデア検討の進め方②



現市庁舎街区の利活用・再整備



横浜教育文化センター跡活用

現市庁舎街区等の 活用アイデア検討の進め方③

● 検討手法

- 参加者がチームを組み、特定テーマについて、継続的に検討を進める。
- 9月下旬のラボで、チームごとに検討結果をプレゼンテーションします。

(特定テーマ)

A グローバル人材育成拠点	D 市民や企業の新たな交流を生み出す生涯学習拠点
B 新しいビジネス創出の拠点	E MICE・文化観光振興を支えるバックヤード拠点
C 健康・医療(ウェルネス)の拠点	F 関内駅周辺地区まちづくり全体像

まちづくり拠点 (愛称を検討中)

- 関内駅前第2ビルにまちづくり拠点を設けました。
- チームごとの検討に活用していくことができます。



チーム組成について

(チーム組成の方法)

- エントリーシート等を踏まえ、事務局でチーム組成を行い、参加者に通知します。
- 6月中を目途にチーム組成のラボを実施します。
 - ※個人の複数チームへの参加、個人・単一の企業での検討チームの組成はできません。
 - ※参加人数や参加意向等により、チーム組成を調整させていただく場合があります。
 - ※特定テーマ以外に独自にテーマとチームを設定してのエントリーもできます。

チーム組成について (チーム組成の流れ)

チーム組成 約1ヶ月程度



①エントリーシート提出



エントリーシートの内容

- ・関心テーマ
- ・チームメンバー組み合わせの希望

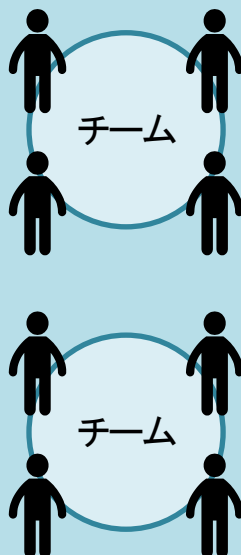
エントリーシートの入手方法

- ・交流会で配布
- ・ラボHP上からダウンロード

②チーム組成

チーム組成

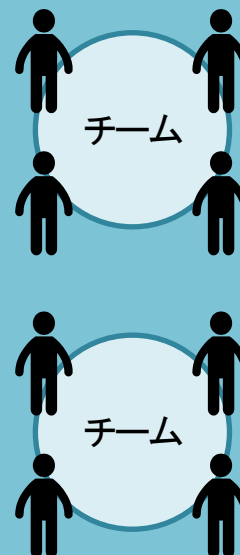
- ・エントリーシートの内容等を踏まえ、事務局でチーム組成を行います。



検討スタート

③チームごとの検討

- ・チームごとにテーマ検討
※テーマ変更、チームの分離・統合、参加者の追加等は可とします。

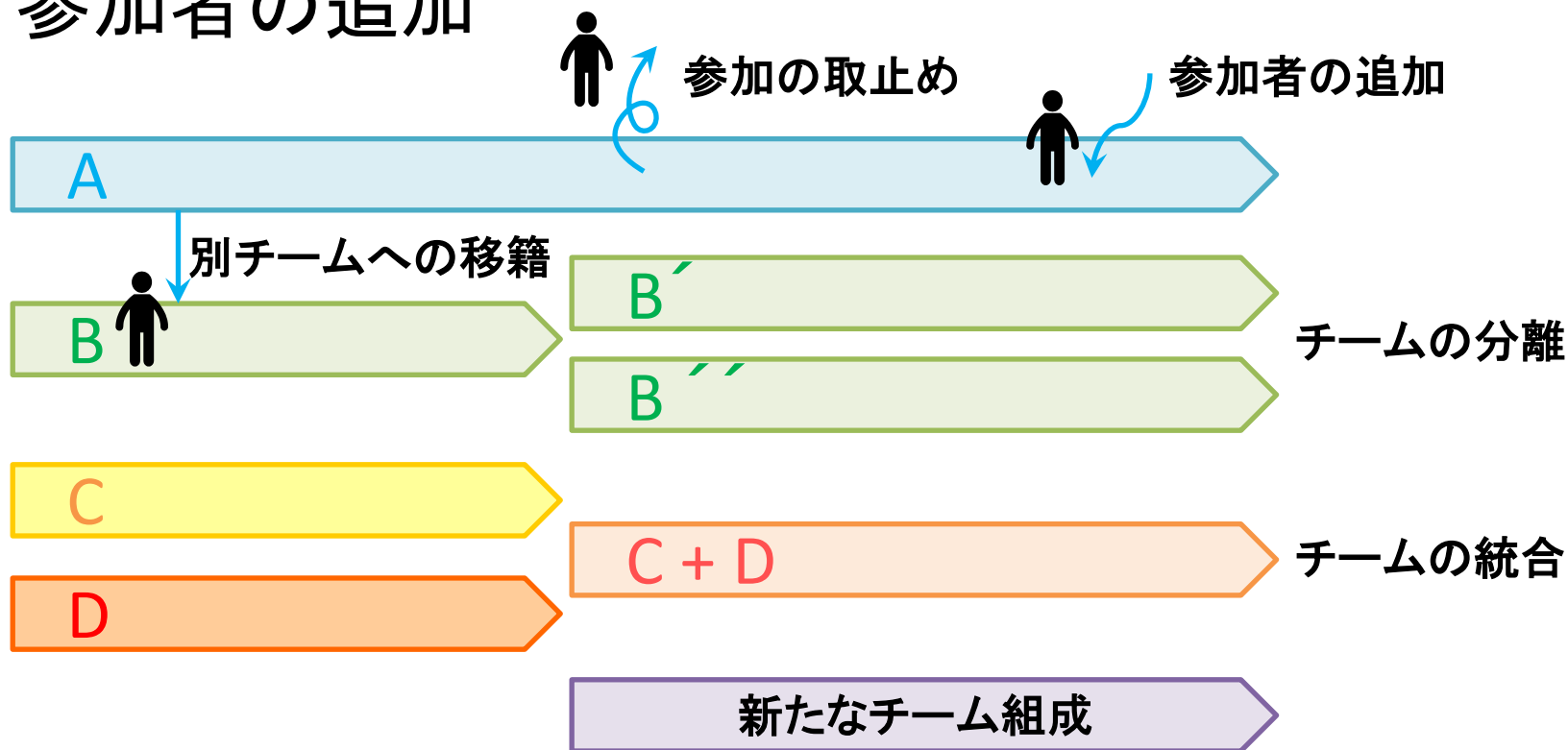


結果発表

チーム組成について

(チーム組成後でも出来ること)

- 参加の取止め
- 別チームへの移籍
- 参加者の追加
- 各チームの分離・統合
- 新たなチーム組成



検討内容

- 特定テーマについて「導入機能の具体的なイメージ」、「運営主体」、「ユーザー」、「波及効果」などについてまとめていただきます。
- 様式は指定しません。
- 9月下旬の発表会では、参加者独自に別途プレゼンテーション資料（パワーポイント等）を作成する事もできます。

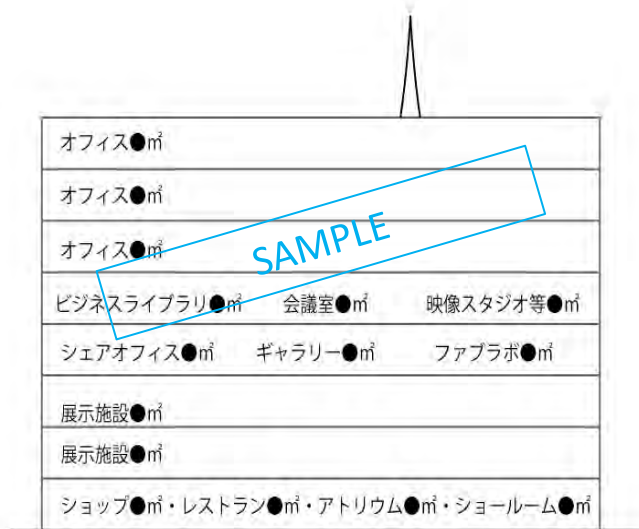
検討結果例

- 9月下旬頃のラボで検討内容を発表頂きます。

導入機能

自主企画事業が展開できる中小規模MICE施設

- ・必要とされる導入機能を提案する、また提案の熟度に応じて想定される規模、断面構成や平面構成イメージ、まちの空間構成などを加える



概要: ○みなとみらい21地区で取りこぼしている中小規模MICE需要の受け皿となる施設が必要。

○日本を代表するMICE都市の横浜の強みを深化させる。

- ・提案の概要、コンセプトを示す。
- ・導入機能を提案する上での適切な課題設定が求められる。

運営主体

- 自主企画を立案する見本市・コンベンション関連企業
- ショップオフィスのテナントリーシングを行う不動産マネジメント企業
- シェアオフィス、映像スタジオ、Fablabの運営企業
- ・導入機能の具体的なイメージを運営主体の説明により加える。

ユーザー

- 新規に起業する小規模事業者の取締役、営業担当者
- 新規事業分野を開拓する事業者の企画担当者
- 30~60代の一般消費者
- ふらっと立ちよる観光客
- ・ユーザーのイメージはできるだけ具体的に想定して、導入機能やコンセプト設定等についての妥当性検証の材料とする。

波及効果

- 地域を対象としているビジネスであるため、地域に直接の雇用、経済効果を及ぼす。
- まちを使ったトータルな「体験」を提供できる新しいタイプの見本市が開催可能となり、同時にまちに賑わいをもたらす。
- MICE観光都市としての横浜市の知名度が□%上昇する。
- 観光客▼人増加、消費単価◎%上昇。
- ・機能の導入により変化するまちのイメージや参入企業、実施事業などと、それらによりもたらされる経済効果等を具体的に表現。

※上記は例であり、まとめていただく内容は、これに捉われるものではありません。

エントリーシート

- 本日までご出席の方は、お帰りの際にエントリーシートを必ず提出してください。
- 記入内容の追加、修正等については、事務局 (tb-machilab@city.yokohama.jp) までご連絡ください。
- エントリーシートは、本日より横濱まちづくりラボHPに掲載していますので、ダウンロードしてご利用いただけます。

第9回 横濱まちづくりラボ

「“知と創造”をテーマとした
まちづくり」シリーズを踏まえた
特定テーマについて

平成27年5月29日

**“知と創造”のまちづくりのコアとなる
機能イメージを更に具体化**



6つの特定テーマ

6つの特定テーマについて

- これまでの横濱まちづくりラボでの議論をもとに、事務局で6つの特定テーマを設定しました。

A グローバル人材育成拠点	D 市民や企業の新たな交流を生み出す 生涯学習拠点
B 新しいビジネス創出の拠点	E MICE・文化観光振興を支える バックヤード拠点
C 健康・医療(ウェルネス)の拠点	F 関内駅周辺地区まちづくり全体像

A グローバル人材育成拠点

グローバル人材を育成する複数大学(研究所)間の連携拠点(大学コンソーシアム拠点)



©2006 Ignis, "Campusplaza Kyoto JPN" on Wikimedia Commons, CC BY-SA 3.0.

大学コンソーシアム拠点

- ・持続力の高い成長産業をターゲットとした産学連携や、関連する研究分野、教育分野の複数の大学(研究所)が集まり、共同で研究、教育が行える、大学間連携の拠点機能。
- ・全世界とのネットワークの拠点となり実践活動を通じた教育が行われるなど、新たな形の教育が試行・実践の場としていく。



©2009 Chensiyuan, "Harvard square 2009j" on Wikimedia Commons, licensed under GFDL.

まちなかに開かれたキャンパス

A グローバル人材育成拠点



©2012 IDEO, "Recess Skype User Feedback" on Flickr, CC BY-SA 2.0.

創造的な空間で研究・教育が実践される

国内外の大学ネットワークのハブ

- ・国際的な規模での優秀な人材の誘致と交流を担い、グローバルな人材の流動性を高める国内外の大学ネットワークのハブ機能をつくる。

ラボ、ミーティングルーム、ライブラリー、ホール等のまちなか集積

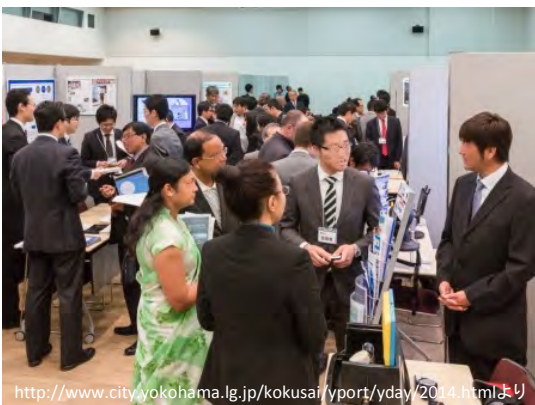
- ・研究・教育の拠点施設のほかに、まちなかには研究の場、講義の場、ディスカッションの場、プレゼンテーションの場、集会の場など、大学関連の多様な施設が点在しており、研究者や学生、施設を利用する人々が常にまちを行き交うようになる。

大学発ベンチャー

- ・大学発ベンチャーや、大学と共同研究、共同事業開発を行う企業がオフィスを構える。

学生、留学生向け施設(寮、留学生会館)

- ・学生のために低廉な家賃で居住できる施設、留学生のための寮や留学生会館など多様な国際交流が行われる拠点機能。将来のグローバル人材に我がまち意識をもってもらおう。



<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/ypport/yday/2014.html>より

新興国に向け横浜の技術・文化を国際発信

- ・アジアをはじめとする新興国等にたいして、インフラ整備や環境対策等の横浜の都市づくりを支える企業の技術・ノウハウを輸出していく。

B 新しいビジネス創出の拠点

基幹的企業の立地拠点



©2012 Stefanovic, "Office" on wovox.com, CC BY-ND



2007 Steve Jurvetson, "TED Talk" on
ckr, CC BY 2.0

多様な人材やアイデアを引き寄せる
求心力のあるコミュニティを形成

中小企業や大企業のオフィス空間

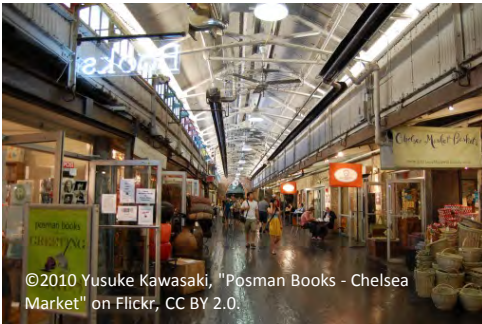
- ・関内駅周辺地区のビジネスイメージのけん引役となり、さらなる人材・企業集積を促すコアとなる機能を誘導する。
- ・高度な技能を持った働き手や多くの専門サービス業者など、高度な人材集積による知識の伝播を期待し、新たなブランド価値をつくる中小企業、大企業が集積する。
- ・市庁舎機能移転後の周辺ビルを活用したまちの機能更新を図る。

B 新しいビジネス創出の拠点



©2009 Kevin Hale, "Paul Graham talking about Prototype Day at Y Combinator Summer 2009" on Wikimedia Commons, CC BY-SA 2.0.

ベンチャーキャピタルの拠点
スタートアップ養成スクール



©2010 Yusuke Kawasaki, "Posman Books - Chelsea Market" on Flickr, CC BY 2.0.

常設バザール(マーケット)



©2014 Benjamin Chan, "TopShelf Boutique at Urban Air Night Market" on Flickr, CC BY 2.0.

移動販売店舗

企業と消費者のタッチポイント

- ・新しいサービスやプロダクトの企画・開発段階から企業と消費者(クライアント)の接点を生み、ユーザー参加型のより良いサービスやプロダクトを生み出す拠点機能。
- ・新たなアイデアを生むフューチャーセンター、最先端で高性能の工作機器を備えるFablab、サービスやプロダクトのテストが行われるリビングラボなど、課題発見からプロトタイプング、テストマーケティングまでがトータルで行われる機能が提供される。

ポップアップストア

- ・まちなかに点在する空き店舗などを活用したテストマーケティングやプロモーションを行い、課題発見の場とする。

ベンチャーキャピタルの拠点、スタートアップ養成スクール

- ・スタートアップのビジネス支援、ビジネスマッチング、経営者の指導育成、投資家・経営者コミュニティの場ともなるベンチャーキャピタルの拠点づくりを進める。
- ・スタートアップ事業者が実践的ノウハウを学ぶ環境を提供し、有能な人材が集まり、斬新なアイデアを生む場となる。スタートアップ企業を育む文化を醸成していく。

・常設バザール(マーケット)

- ・横浜からビジネスを始めるスタートアップの店舗などが集まる常設バザール(マーケット)
- ・一般消費者が集まり集客拠点となるだけでなく、バイヤーが集まり全国に展開するビジネスが生まれる場となる。

C 健康・医療（ウェルネス）の拠点

スポーツと医療の融合サービス、トータルな健康ライフスタイルサービス提供拠点



- ・医学的知見にもとづく最新の健康サービスを提供するフィットネスジム、リハビリ、人間ドックなど、新たなサービスを開発・提供していく拠点機能。
- ・トップアスリートの養成・調整のノウハウや最先端医学を一般市民へも提供していく。
- ・スポーツツーリズムの拠点ともなり、国際的な交流人口を増加させる核となる。



トータルなライフスタイルを提案するスポーツ健康ビジネス展開



©2011 Cosmed, "Ergospirometry laboratory" on Wikimedia Commons, CC BY-SA 3.0.

スポーツと医療の融合領域のサービス開発



横浜発のプロスポーツ文化発信拠点

横浜発のプロスポーツ創造と発信の拠点

- ・横浜のプロスポーツの拠点、マイナースポーツの拠点など、横浜からスポーツ文化を創造し発信していく拠点をつくる。

C 健康・医療（ウェルネス）の拠点



©2013 NYCDOT, "Summer Streets Weekend 2" on Flickr, CC BY-ND 2.0.

歩きたくなる、走りたいなるまちの空間をつくる

子ども向けスポーツスクール事業の拠点

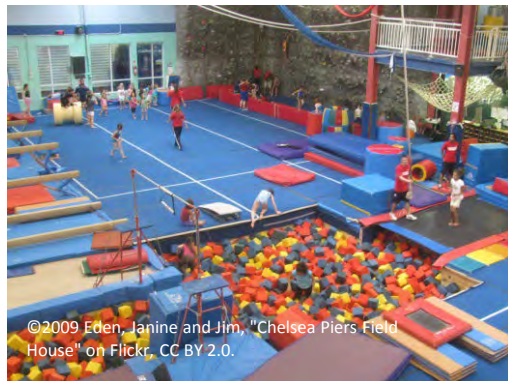
- ・スポーツを通して子どもの心身を育てるスポーツスクール。プロスポーツ選手による直接指導、ダンスとの連動など、多様なスポーツスクール需要に応えるサービス展開を図る。
- ・新興国に向けても日本の質の高いスポーツスクールサービスをプロモーションしていく場となる。



日本最先端医療を学びに世界から人が集まる

新しいスポーツ健康関連製品・サービスの開発拠点やショップ

- ・スポーツ健康に関わる新しい製品・サービスを開発していく拠点施設。
- ・フィッティングなどが重要視されるスポーツ健康関連製品や、個々人の肌の特性に応じたコスメなど、ユーザーが実際に試し、体験することでより良い製品やサービスを選ぶことができるショップやサービスの提供。
- ・企業にとっては新しい製品やサービスのプロモーションの機会となるとともに、ユーザーからのフィードバックを直接得て、製品・サービス開発に還元していく。



©2009 Eden, Janine and Jim, "Chelsea Piers Field House" on Flickr, CC BY 2.0.

子供向けスポーツスクール

スポーツ健康サービス提供型滞在施設

- ・プロスポーツ観戦者、病院訪問者等、来街者に合わせた滞在施設を提供する。スポーツホテルなど個性ある滞在施設など、他にはない滞在の体験ができる場としていく。
- ・健康サービス付き高齢者福祉施設。

D 市民や起業の新たな交流を 生み出す生涯学習拠点

市民の学びのニーズに答える 新たな学びの拠点



- 子供、シニア、主婦、ビジネスマンなどの様々な年齢・性別・社会的立場を超えて学びのニーズに答える場。
- 企業、団体、市民による新たな学びのプログラムを提供し、価値のある情報を集め、まなびを通じて、新しいビジネスを創造する。
- 企業のCSR・CSVプログラム研修、セミナー活動のための拠点としての機能を持ち、CSR・CSVに積極的な企業等の進出を促す。

D 市民や起業の新たな交流を 生み出す生涯学習拠点



©2011 建築業人学札網站 Forgemind ArchiMedia
"Atelier Bow-Wow - BMW Guggenheim Lab Photo 15"

市民大学の拠点

多様な興味に応じて授業をつくり展開する市民大学の拠点

- ・市民が講師となるなど、多様な学ぶ人と教える人が集まる市民大学の拠点。コミュニケーションが活性化し、賑わいの拠点となる。

社会ニーズを捉えた製品・サービス開発拠点

- ・市民と企業の交流を通じて、日常生活の様々な問題点に潜むニーズから新しい製品・サービスの開発につなげる、企業と市民の協働のための施設。



© 2013 flughafen, "3D Druck Treffen Nürnberg" on flickr, CC BY 2.0.

市民の多様なスキルを生かす場

CSR・CSVに積極的な企業のサテライトオフィス

- ・CSR・CSVに積極的な企業が集まり、相互の交流を通じて、市民に対する質の高い学びの場を設ける。また、サテライトオフィスとしての機能を持つことで、様々な企業の進出を促す。

ビジネススクール

- ・大学の学生だけではなく、ビジネスを学ぶ人の学習の場があり、多様な人が集まるまちとなる。



©2013 Ophelia Noor, "ATELIER ARDUINO AU FAC LAB" on Flickr, CC BY-NC-ND 2.0.

ユーザー参加型の製品・サービス開発の拠点

E MICE・文化観光振興を支える バックヤード拠点

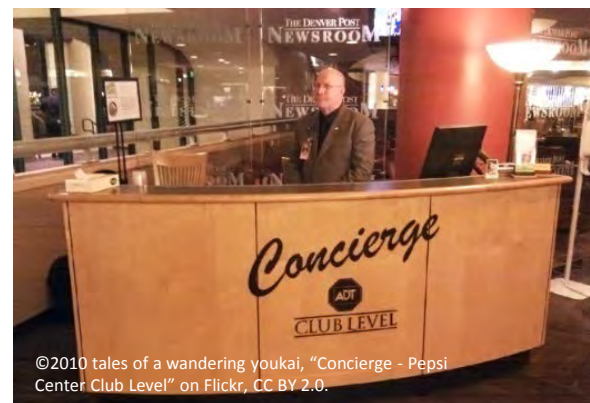
滞在施設や就業者の住空間の提供



©2013 Jinny, "Hotel Anteroom lobby. So chic." on Flickr, CC BY-NC-ND 2.0.

短・中期の滞在施設

- 横浜に不足する滞在機能を提供するとともに、横浜の独自性ある高品質な滞在を訪問者に提供する。
- 国際的なビジネスや観光機能を支え、これを担う人材や、学生などが暮らし、活動の拠点となる施設を整備する。
- 職住近接のためのサービスアパートメント、SOHOといった住空間を提供する。



©2010 tales of a wandering youkai, "Concierge - Pepsi Center Club Level" on Flickr, CC BY 2.0.

一流のホスピタリティ人材育成を行う

E MICE・文化観光振興を支える バックヤード拠点



©2010 Juska Wendland, "Orion & Flight @ Labyrinth // Laserpoint // Whiteout, 17.04.2010, Cable Factory, Helsinki, Finland" on Flickr, CC BY-NC 2.0.

文化観光・アフターコンベンションの拠点

文化観光・アフターコンベンションの拠点

- ・飲食施設やエンターテイメント施設により、アフターコンベンションなどにおける楽しみやくつろぎを提供する。
- ・都心部全体の役割分担を図り、来街者の回遊を促進する。

中小規模MICE施設

- ・オフサイト・ミーティングなど、新たな会議スペース需要へ対応する中小規模MICE施設。企業が会議施設保有コストを縮減することにもつながる。
- ・関内駅周辺地区独自の見本市を企画し実施していく拠点。



文化観光の情報拠点

文化観光の情報拠点

- ・文化観光の拠点となるコンテンツを提供する拠点機能。
- ・横浜の歴史、アート鑑賞、観光などの情報を得たり、コンシェルジュ機能を担う情報拠点機能。



©2011 Social Media Cafe Biz, "Workshop HBI.44 08022011" on Flickr, CC BY-NC 2.0.

高品質なミーティングサービスの提供

観光やエンターテイメントの人材育成機関の拠点

- ・ホテル経営やホスピタリティ・エンターテイメント業界を志す人材の育成機関の拠点。世界水準のホスピタリティビジネスのノウハウを教える。
- ・地域企業とも提携し、有能な人材を地域に供給するとともに、ノウハウを地域に移転することで、地域の活性化にもつながる。

F 関内駅周辺地区まちづくり全体像

都市の基盤的環境整備



<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/tosai/kannai/>より

- 多様な人が集まり交流が生み出される公共空間の創出。
- 世界に比肩する高品質な街並み景観の創出。
- 都市軸の強化。
- JR線や首都高速によるまちの分断の解消。
- 街路空間と動線のプランニング。

F 関内駅周辺地区まちづくり全体像

横浜都心部レベルでみた地区戦略



- ・横浜資源を生かした回遊強化の多様な仕掛け。
- ・交通ターミナル機能の強化。
- ・まちなかイベントによる賑わい創出。
- ・様々なツールを活用した効果的なプロモーション。
- ・持続的な都市のマネジメント。
- ・地元のイニシアティブを引きだす、仕組み・体制の構築。
- ・実践的な都市づくりを通じた人材育成。
- ・エリアマネジメントの実践

<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/archive/publish/backnumber/2014/10/series01.html>より